

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：コミュニケーションを解き明かす—会話分析研究の入門と実践 ILAS Seminar :Exploring human communication - An introduction to Conversation Analysis			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授 横森 大輔 アジア・アフリカ地域研究研究科 教授 高田 明		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	1共24			使用言語	日本語
キーワード	相互行為 / ビデオ分析 / ことばの民族誌 / 言語と非言語						
[授業の概要・目的]							
コミュニケーションは、面白い。ふと周りの人々のやりとりを観察してみると、話が噛み合わずにトラブルになってしまっていることもあれば、不思議なほど円滑に会話が進んでいることもある。こうしたコミュニケーションの面白さや難しさは、私たちの日常生活のありとあらゆる場面に見出される。家族と団らんしたり、友達を作ったり、事務手続きについて問い合わせたり、サークルで話し合いを行ったり、バイト先で客に対応したり等、私たちが暮らす社会は、人と人との相互行為の積み重ねによって形作られている。いわば、相互行為は人間社会のインフラであり、人間について、そして社会・文化・言語など人間の生み出した諸々について理解するための基礎になるものである。 本授業の主題である「会話分析(Conversation Analysis)」とは、人々の間の相互行為について探究する学問分野である。会話分析は、社会学の一領域から出発し、人類学や言語学などの諸学問との交流を経て、独自の発展を遂げている。現在では、社会学・人類学・言語学はもちろん、認知科学・外国語教育学・教育学・経営学・情報工学・医学などきわめて多岐に渡る領域において会話分析の知見が利用されている。 会話分析という分野の特徴の一つは、実際の相互行為を録音・録画し、データに基づく研究を行うことである。データ分析では、やりとりの中で発される言葉はもちろん、ちょっとした息づかい、声色の変化、一瞬の間、顔の表情や視線の動き、身体の振る舞いなど、言語的資源と非言語的資源の両方をミリ秒単位で精密に観察することで、相互行為の秩序や構造を解き明かす。 この授業では、会話分析研究の入門と実践を通じて、何気ないやりとりの中に学問的探究の種を見出し、それを研究成果として結実させるまでのプロセスを体験し、各自の専門分野における学びに向けた礎を築くことを目的とする。							
[到達目標]							
・ 会話分析という学問分野の主要な知見について理解する。 ・ 相互行為という日常的な題材に対して、学術的にアプローチする構えを身に付ける。 ・ 相互行為のビデオデータを収集し、会話分析の知見に裏打ちされた学術的な観察の技能を身に付ける。							
[授業計画と内容]							
学期を通じて、会話分析の主要な知見の概要を学びつつ、ビデオデータの収集と分析の実習を行う。各回の計画は以下の通り。							
ILASセミナー：コミュニケーションを解き明かす—会話分析研究の入門と実践(2)へ続く...							

第1回：会話分析とは何か：会話データから何がわかるのか？どのような学問分野と関わるのか？
第2回：会話のビデオ収録の方法
第3回：会話分析の基礎概念
第4回：ビデオデータ観察事始め
第5回：文字起こし（語句、韻律、パラ言語）
第6回：文字起こし（身体行動、民族誌（エスノグラフィー））
第7-8回：会話分析の基礎概念の検証
第9-10回：会話分析の学際的展開：人類学・言語学を例に
第11-14回：会話分析研究の実践
第15回：フィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

授業への貢献度（授業中のプレゼン等を含む）70%
期末プレゼン30%

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）
串田秀也・好井裕明（編）『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』（世界思想社, 2010年）ISBN: 4790714691
串田秀也・平本毅・林誠『会話分析入門』（勁草書房, 2017年）ISBN:4326602961（京都大学図書館電子リソースで電子版を読むことができます。）
高田明『相互行為の人類学：「心」と「文化」が会う場所』（新曜社, 2019年）ISBN:4788516071
平本毅・横森大輔・増田将伸・戸江哲理・城綾実（編）『会話分析の広がり』（ひつじ書房, 2018年）ISBN:4894768534

【授業外学修（予習・復習）等】

授業の展開に応じて、授業外での課題に取り組んでいただきます。具体的には以下の通りです。
・自分の身の回りでの会話を収録するなどして分析対象のデータを用意する
・データの分析対象部分を文字起こしする
・会話分析に関する入門的文章を読み、担当範囲をプレゼンする
・データ中の特に興味深い箇所について、授業で学んだ内容を踏まえた観察を行う

【その他（オフィスアワー等）】

この授業を選ぶかどうか迷った場合は、参考書に挙げている書籍を図書館等で探し、パラパラとめくってみて面白そうと思えるかどうかという観点から判断してみると良いかもしれません。

【主要授業科目（学部・学科名）】